

令和5年11月17日発行

No.390

SHINING

0942-27-2039
FAX 0942-27-2086
http://h-polepole.com



第22回

ポレポレ祭り

共に手をとり、共につくろう。新時代

ポレポレ祭り、ありがとうございました!!

2019年12月のコロナウイルス流行から、4年が経ちました。あれから私たちの生活は激変しました。ポレポレでも、活動場所を固定し、今まで当たり前前に顔合わせていた仲間とも、会って話せない日々が続きました。メンバーもスタッフも毎日が不安の中での生活が続き、先の希望が見えない日々でしたが、それでも毎日頑張っていれば、楽しいことがたくさん出来ると前向きにみんなで頑張ってきました。

ようやくポレポレ祭りが盛大に開催することができるようになりました。メンバーには、太鼓演奏、ダンス、バザー、スタンプラリーなどやりたいことを選んでいただき、当日に向け、練習したり、準備をしたりと活動中も活気が戻り楽しかったです♪

当日は、気温28度という暑さの中でしたが、多くの方たちにきていただき、うれしく思いました。ご家族のみなさんとお話ができたり、1年ぶりの再会ができたり、何よりメンバーの笑顔あふれる1日となりました。ご協力いただいたみなさま本当にありがとうございました。

(実行委員長 児玉 元気)



9月！長崎旅行に行ってきました！

メンバー、保護者、スタッフの総勢15名で久しぶりの旅行。初めて参加するスタッフもいましたが、みんなが楽しめるようにと現地の下見を行い、打ち合わせを重ねました。当日は、現地で大学生2名がボランティアとして参加。メンバーさんの笑顔あふれる旅行となりました。(スタッフ 石橋千鶴)

何故、旅行をするのだろう。楽しい思い出、おいしい食事もあることながら、旅行を通して心身ともに成長することにあるのだと、6月に入職した私は、44歳にして感じました。

みなさんと一緒に中華街の円卓を回しながら食事し、グラバー園の坂を汗かきながら上がりました。伊王島に到着後は、トウクトウクに乗って風を感じ、シーサイドでのバーベキュー、大浴場に入浴後、ホテルの部屋では川の字になって寝る。船に乗って日頃見ない海の景色を見て、誰かを思い、楽しそうにお土産を買う。日常では味わえない体験ができたと思います。旅行を通して、メンバーさんとの心の距離も縮まったように思います。(スタッフ 永田 薫郎)



ボランティアの学生からのコメント

コミュニケーションに戸惑いながらも、意思疎通ができたことがとても嬉しかった。ポレポレの皆さんと行動をともにし、刺激をもらい楽しく、学びのある旅行になりました。